

たつくり

題字
相田コマ顧問

女性部だより

調布市商工会女性部

〒182-0026
調布市小島町 2-36-21
TEL:042-485-2214

女性の輝きで、街ににぎわいを

女性部長 根岸 玲子



景気回復を実感できない状況のまま、新しい年を迎えましたが：私たち女性部はそんな状況はどこ吹く風の如く、めまぐるしく忙しい状況下におかれています。

東京都商工会女性部連合会の事業の一つである女性部全国大会が今年

度は開催地が東京となったからです。毎年、地方で素晴らしい大会を開催しているのに「東京はどうなの？何なの？」と言われない様実行委員は準備に準備を重ね取り組みました。

調布だつて忙しいのに：。十月七日第十七回商工会女性部全国大会 in Tokyo 開会です。

確かな真心、未来へ続け、がんばる力！女性の輝きで、街ににぎわいを！スローガンに幕が開きます。

私達、調布商工会女性部は、朝早くから会場であるNHKホールへ事務局の山本さんを先頭に十五名の部員が集合。全国から集まる三千余名のバスで訪れるお客様をホールへの案内係、バスが到着すると本領を發揮、素晴らしい活躍で、おもてなしに余念がありませんでした。

NHKホールでの大会は大成功、調布は、終了した大会のお客様をバスマでお見送りをし、京王プラザホテルの交流会へ参加。

十月八日柳澤会長を始め女性部二十一名、稲城市商工会、狛江市商工会、三鷹商工会の女性部が十四名で京都府連女性部八十五名が深大寺訪問の為のお出迎え京都の皆さんと一緒に深大寺住職の法話を聞かせていただき、深大寺そばで昼食。おみやげに「七福だるま」を一人一人に手渡しおもてなしをさせていただきました。そして全国大会の幕を閉じました。

さて、これからが私たちの本領を發揮！十月十日・十一日・十二日市制六十周年並びに第六十回商工まつりです。

休む暇なく三年振りのチャリテイバザーとしてびつくり市です。どこからそんな力が湧き出たのか？目を輝かせ、元氣いっぱい女性の部です。今年度は女性部全員で事業をやっていきたい旨を総会で発表しましたが

バザー商品を集め、そして値札付けも今迄より人数が多く(三十五名)当日のバザーも三十五名手伝いに参加して下さいました。バザーの売上金も調布市福祉基金に十万五千円寄付することが出来ました。

そして、びつくり市のブースでの為に考案した「ふみ焼」をデビューさせる日が三年たった今実現しました。三日間で七百枚近く焼きました。「おいしかったですよ！」「又、買いに来ちゃった！」「何枚でも食べられるよ」「ヘルシーで女性向きネ」と大好評で「やったア！これで女性部の名物が出来た！」という手応えもありました。初めて参加した部員も三日目には「ふみ焼」を焼いて販売、疲れた顔もみせず「楽しい」と言っていました。

十一月七日街なかウォーキングゴール地点調布駅南。

八日多摩川クリーン作戦並び市制六十周年式典グリーンホール

この時も「ふみ焼」で南口広場に「賑やかさを」で出店八日は雨天だったが皆頑張りました。というように、今年はこの忙しい文句ひとつ言わずお力を貸して下さいました部員の皆さまに本当に、ほんとうに感謝を申し上げます。来年もどうぞ、お力をお貸し下さい。本当にありがとうございます。

**第三十回通常
部員総会を開催**

日 時

平成二十七年四月二十七日（月）
午後 六時

会 場 商工会館三F研修室

部員総数 一四四名

出席者 本人 三十三名

委任状 五十六名

計 九十名

来 賓 九名

議 案

第一号議案

平成二十六年事業報告並びに

収支決算報告承認について

第二号議案

平成二十七年事業計画並びに

収支予算決定について

第三号議案

任期満了に伴う役員を選任について

以上の議案が上程され、第一号、

第二号、第三号議案ともに満場一致にて可決されました。

総会終了後【中国料理 渝園】にて懇親会が行われ、来賓の皆様を含め和気あいあいとした雰囲気新しい部員の方々とも交流を深める場となりました。



**関東ブロック
商工会女性部**

交流研修会

七月九日（木）埼玉県さいたま市大宮ソニックビル（研修会場）に行くと、文化会館たづくり前より午前八時出発のバスに参加者二十一名が乗車。当日はあいにくの雨、肌寒い朝でしたが全員元気にスタートしました。

さて、午前九時頃、浅草ほおずき市を見学する為途中下車。雨傘をさして浅草寺境内を散策しました。オレンジ色をしたほおずきの鉢植があちこちに並べられ、露天商の方々、私達をニコニコ迎えてくれました。私は、一枝千円のほおずきを二枝記

念に買って来ました。季節感があり楽しむ事が出来ました。

午前十一時頃、昼食の為パレスホテル大宮に到着。美味しい和食御膳を頂きました。これから本番の研修会場ソニックシティ大ホール、徒歩で移動しました。埼玉県商工会女性部の皆さんとっても明るい大きな声で私達を迎えて下さいました。研修会場入口では、気持ち良い女性のパワー！にわかに胸がワクワクしてきた事を今でも想い出します。会場を埋め尽くした参加者の熱気に応えるかのように迫力ある和太鼓演奏（和太鼓スタジオすわんど）がみごとに研修会の幕を開けました。関東ブロックとは、東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・山梨県・茨城県・長野県・静岡県・栃木県・群馬県・新潟県（一都十県）だそうです。開会式セレモニー終了後は、本日のメイン主張発表大会が開始されました。発表者は前半六名・休憩をはさんで後半は五名のプログラムでした。

最優秀賞・優秀賞・優良賞の表彰は最後に発表されましたが、この賞を頂く為には、とても厳しい条件がありました。審査ポイントとしては、①「内容」・女性部行動又は女性部員としての活動が、地域振興やまちづくり貢献に相応しいものであるか否か。②「校正」論旨が明確で説得

力があり、分りやすいか否か。③「表現力・態度」表現力が豊かであり、人に好感を与え、訴える力があるか否か。（プログラムより）又、その他に発表時間は十三分以内に終了させねばならないという規定がありました。

例えば、一秒でもオーバーしている発表者に非情にもチーン・チーンと注意ベルが鳴らされました。約半分の方がオーバーされた記憶があります。時間オーバーの場合三点から最高七点迄、減点の旨、記入されていました。このように厳しい基準にも拘わらず堂々と発表された皆様方に心から大きな拍手を送らせて頂きました。

又、ご自分が住んでおられる町の活動報告は勿論のこと、女性部員としての地域貢献活動のさまざまな紹介、最後まで楽しく聞かせて頂きました。

最優秀賞は、栃木県大平町商工会・土屋由美子さん、優秀賞は、静岡県河津町商工会・島崎公子さん、優良賞は、茨城県つくば市商工会・高野培美さんでした。東京都の代表は伊豆大島、大島町商工会・金子弘子さんでした。

午後四時十五分～五時五分迄は基調講演「報道から見たこれからの日本」のテーマでTBSテレビ報道局・

松尾秀哉氏よりご講演頂きました。テレビで顔見知りのプロ講師だったのでとても聞きやすく、内容も良く勉強させて頂きました。

夕方六時過ぎ調布市に向ってバスが出発。外は雨、車中心づかいの軽食お腹が空いていたので助かりました。尚、自己紹介が開始されました。耳を傾けながら初参加の私このたびすばらしい思い出作りが出来感謝しております。役員の皆様ありがとうございました。

田中 千恵子



献血運動に参加して

八月三十日、猛暑はどこへやら十月中旬という肌寒さ、しかも小雨の降る中の協力活動でした。参加者は、

青年部長を含め女性部十七名です。結果は、献血受付者八十八名、うち献血者五十七名と過去最高を記録し、日赤の方も喜んでくださいました。

今回は、商工会女性部が抽選会を開催したり、日赤の方からマイクをあらかじめ呼びかける等、前面に出たの協力でした。皆さんの声はとても通り、なめらかに出てくる言葉は調布駅前一带に響きました。私も首から大きな献血の看板をぶらさげて協力を呼びかけました。

みな目をそらせながら通って行きます。じゃまだとばかりにぶつかる老人、差し出したティッシュを奪い取るようにつかむ若者もいました。

そんな中で、四十代の男性から「休憩がてらに献血して行こうかな。おいしいもの食べているから、良いのが採れると思うよ。」との余裕の協力の申し出に、私も思わず、「ありがとうございます!!」と答えました。また、三十代の女性が「献血どこでやっているんですか?前回、ヘモグロビン量が低くて出来なかったけど治療したから大丈夫だと思いのね。」なんと前向きなんでしょう!

最近、身内の者が輸血を受けました。みるみる顔色が良くなったそうです。それを知ってか知らずか、二十代の息子が初めての献血をして

いました。驚きと共にとてもうれしくなりました。私もまた来年頑張りたいと思います。

石井 恭子

共同募金事務協力によせて

九月一日午後一時より福祉会館二F会議室にて女性部十名にて作業開始パンフレットを教えはじめスタート：「寡黙」になる作業だ。区切りの良いところで返事をしてみたり、話してみたり、私も数回となる作業協力なので数え方も少し早くなった気がします。

これらが各自治会に配布されること。今年は昨年よりご協力募金が多くあります様に

大竹 勝子



女性部全国大会 in

TOKYO

確かな真心、未来へ続け、頑張る力!女性の輝きで街ににぎわいを〜をスローガンのもと、十月七日(水)に第十七回女性部全国大会が、NHKホールにて、開催されました。調布市商工会女性部からは、根岸部長はじめ十五名の方がバスでNHKホールに向かいました。私は、全国大会ははじめてですが、黒のTシャツに黒系のパンツ、白いスタツフジャンパーにピンクのストールを首に巻き、心も新たに頑張ろう、と思いました。

会場にて、北海道、沖縄県、山形県、神奈川県、神奈川県の担当を決め、さあ、お出迎えます!



私は茨城県担当です。調布商工会女性部は一列に並び、笑顔で、「ようこそ、こんにちは、いらっしやいませ！」と大きな声で皆、担当のプラカードを揃えて持ち、お出迎えをします。担当の県のバスが到着したら、代表者に挨拶をして、前と後ろに立ち、誘導します。

調布の商工会女性部は、とてもきちんとしていて声も出ていて素晴らしいと思ったと思います。後から聞いたお話ですが、桜井副部長さんは、具合が悪くなった方を二人も助けたと聞き、機転がきいて素晴らしいと思いました。

それぞれの県の方の案内を終え、私たちも大会に参加します。総参加者数三千人を超え、第一部は開会の言葉にはじまり、国家斉唱、商工会

女性部の歌、誓いの言葉、大会会長挨拶、来賓挨拶と続きます。全女性連事業表彰を終え、第二部は全国から選ばれた、六ブロックの代表者、各一名の主張発表大会です。

一番目は九州ブロック、福岡県小竹町の商工会で、「チェンジはチャンス！ご当地バーガーKETAKEOバーガーはチェンジのキツカケになつたか？」人口八千二百人で、衰退する町の悩みに町おこしにチャレンジ、ついには、小竹名物ハンバーガーを作ってしまった。レシピは鳥ひき肉とタケノコ入りのカラリとしあがったメンチかつ&玉焼きに昭和レトロの特選ソース、パン生地は竹炭を入れた真っ黒なKETAKEOバーガー・・・マスメディアにアプローチし、地方創生の為、町民が町を語るふるさとの味です。生き残るには、必ず未来が開けると信じて地域の活性化に頑張りました

二番目は中国・四国ブロック代表、香川県さぬき市商工会、「次世代につなぐ為、部員増強の取り組み」まずは、毎回アンケートを取り、一年間のスケジュールを決め、女子力アップの為、行動をおこしました。講習として、認知症サポーター、健康体操（自力整体・ストレッチ）、和紙あかり、ビーズ・アクセサリー、パン教室、フラワーアレンジメント、

断捨離・整頓、テーブルマナー、イクメン講師を招いてのお茶の作法、等。前向きにアクティブに力をそそいで、新入部員を二十三名という、成果をあげました。

三番目は、関東ブロック代表、栃木県大平町商工会、「世話焼き母さんの百日間の奮闘記」自然は豊かだけど、少子化と後継者問題で、考えたことは、おせっかいおばさんとなつて、縁結びをしましょう！婚活パーティーを七月に企画し十月にバーベキュー会場広場で行いました。まず、チラシ、ポスターを配布、ホームページにも載せ、「ひとりぼっちにはさせません、迷惑にならないよう、お世話します」と全面アピールして、新聞にも掲載しました。男性七十九名、女性三十五名の応募でした。男性は四十名に絞って開催、一分間の自己紹介、伝送伝言ゲームから、バーベキューを行い、小さな親切、大きなお世話にならぬようお世話し、フリータイムを経て、五組がカップル成立、とても好評でした。

四番目は、近畿ブロック代表、滋賀県甲良町商工会から、「トマトのパワーで元気に美しく！」近江牛や三大偉人が有名で、農業と建設業が三分の一を占め、緑が豊かで水が美味しいです。女性活動として、ト



マトに焦点をおき、リコピンが多く、動脈硬化をふせぎ、熱に強く、ジャムを作ることになりました。トマトまるとジャムや青いトマトのジャム、リコピンは油と一緒にだと吸収が良くなることで、クッキーやかりんとう、おからコロッケ等、生産者にもなつて地域に貢献しました。お祭りにも参加しました。

五番目は、中部ブロック代表、富山市北商工会より、「まちづくりは人づくり、きずなづくりから、女性部からはじめましょう！」自然が豊かで東西に川が流れ、ほたるいかに名産地です。町の特産物の為、ほたるいかにご飯を、地元のこしひかり、醤油、生姜で炊き込み、ほたるいかに

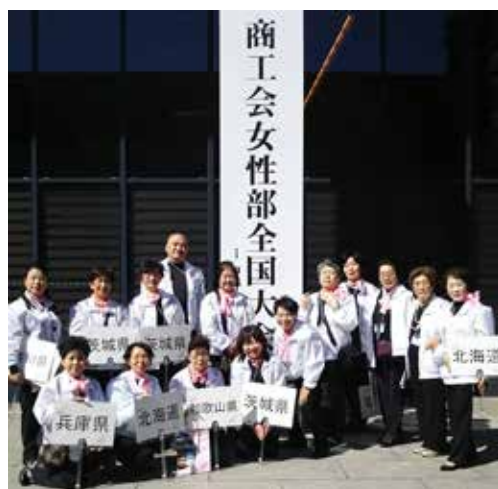
炊き込みご飯を作りました。子育てと仕事で苦労はしましたが、活性化の為、町づくりの為、人をまきこんで、一生懸命やりました。また、お祭りでの花火大会は、地ムービーにも載せるため、元旦から七か月間頑張りました。試練はあったけど、情報を共有しながら、友人もたくさんできました。

六番目は、東北・北海道プロック代表、宮城県登米市商工会から、小さな町の大きな夢まつり、宮城県北部にあり、農業中心の町、有名なのは佐沼祭り、東北の上海と呼ばれるほど、最大の夏祭りがあります。

女性部活動として、そのお祭りに参加、「おいとこロックコンテスト」を開催しました。十チームが参加し、コスチュームも楽しくて、その行事により、女性部一人一人の特技がわかり、大成功に終わりました。

第三部の基調講演は、私たちは皆様のお見送りの為、聞かせませんでした。「銀座のママに学ぶ 人間力！女子力！ビジネス力！」はとても感動するお話だったそうです。

主張大会の最優勝賞者は香川県さぬき市の方でした。いろいろな行事を開催し、会員増強に尽力された商工会です。



に分かれ、今度はバスまでお送りします。私の担当の茨城県もなかなか、バスが来なくて、そのあと、遊覧船に乗る方たちや他の行事がある方々は、無事行けたのだろうかと心配しました。これだけは、道路渋滞だけはどのような方もありません。私たちの担当の県の方をすべてお送りして、さてそれでは懇親会の場合である京王プラザの会場へ：美味しい食事をいただきながら、木遣りや日本舞踊を見て、最後は紅晴美さんの歌を聴いて今日一日、誘導で大変でしたが、楽しく癒されました。そして、京王プラザをあとにバスに乗りました。

来年の全国大会は福島です。私の祖母の田舎です。中学生になるまで、夏休みを思いっきり過ごした、思い

出の地です。その実家もいろいろと、深刻な悩みを抱えています。私も地域の活性化のために一生懸命頑張らないと、福島の親戚に顔を向けられないような気がします。

本日の主張大会の方々のパワーを思いっきり感じて、明日から頑張っていきたいと思いました。

北川 由紀子

京都府商工会 女性部をお迎えして

第十七回商工会女性部全国大会を無事終わり、ほっとしたのもつかの間私たち調布市と、狛江市、稲城市、三鷹市の商工会女性部は、京王プラザに宿泊して三鷹の天文台を見学し深大寺観光の京都府商工会の皆様をお迎えしました。十一時到着の二台の大型バスを、今か今かと整列し待



ちました。到着した京都の皆様と調布市商工会のトレードマークのピンクのブレイカーが一段と明るく笑顔あふれる女性部員に何事かと尋ねる観光客もあり深大寺に花を添えました。

深大寺住職のお出迎えがあり、深大寺さんの本堂にはなかなか入れないのですよと柳澤商工会会長の挨拶。根岸女性部長は旅のねぎらいの言葉と京都の全国大会でお世話になったお礼を述べました。

早速住職さんの法話が始まりました。立つて話しているので立ち話ですと笑いを誘い、鐘の撞き方、お経の読み方が関西と関東では違いがある話し、外国人が多くお参りされる話し、お賽銭は修行の邪魔になるので音がしない札を入れた方が好ましい文化とか。深大寺の辺りは、昔は養蚕が盛んで、蚕がだるまに似ているのでだるま市が三月にある。現在の仏前結婚式のあり方など、とにかく笑いの絶えないお話しぶりに大いに満足しておられました。

お土産に可愛いお顔のだるまの鈴を、差し上げました。「佛日増輝」仏さまの教えは降り注ぐ太陽の光のようなも

ので私たちにその恵みを与えてくれる古より水神深沙大王を祀り清冽な湧水は田畑を耕してきた深大寺。ご利益はお詣りした方の心がけしだいというところでしょうか。昼食は嶋田屋さんのお蕎麦を慌ただしく召し上がりお帰りになるバスを、どうぞ無事に帰路につかれるよう精いっぱい手を振り、お見送りして歓迎のセレモニーが終わりました。

『深大寺に』

湧ける泉の ゆたけきを

我見に來たり 立ちて見てをり』

齋藤茂吉 深大寺の秋より

加藤 みち子

商工まつり

「調布市制施行六十周年の商工まつり」今年こそ無事に開催出来ますように！と誰もが願っていたと思います。

今年は、例年とは違い三日間の開催です。

過去二年天候に恵まれず、残念な思いを残したまま第六十回商工まつりを迎えました。

会場も調布駅南口駅前広場が使用出来る為沢山のお店が出店し盛り上がりしました。

女性部はチャリティーバザー・

びつくり市・お楽しみ抽選会のお手伝いです。

一日目 曇り、お日様は顔を出してはくれませんでした。が気温も過ごしやすく、会場内も賑わい女性部の生ビール、各種飲み物、ふみ焼も沢山のお客様にお買い上げ頂きました。

二日目 雨後曇、女性部のチャリティーバザーは野外での開催のため中止となり、バザーを楽しみに来場された方々はがっかりされていました。

三日目 お天気となり日差しも強くバザー会場は開始前から並んでいました。入場規制をしながらお買い物頂き、商工会の柳澤会長も大きな声でお買い物ルールなどご案内頂き盛況のうちに終了時間となりました。

今回私は、ふみ焼を担当しました。嬉しかったのは、リピーターのお客様がいらした事です。「昨日食べたら美味しかったからまた買いにきたよ」と。ふみ焼は、材料もヘルシーながら卵を使用しているため思ったよりボリュームもあり、お子様からお年寄りまで好評です。何といても松村副部長の生地にその秘密があります。

女性部のお店も三日間を通し沢山のお客様にお買い上げ頂き部員一同

頑張つて働いた甲斐がありました。

さて、今回は六十周年という事もあり、ミス調布コンテストも行われ調布市在住・在勤・在学の素敵なお嬢様方が応募され最終選考に十名が残り、いよいよミス調布が決定！皆さんおひとりおひとりが容姿は勿論ですが様々な質問にもご自分の考えをきちんと話され個性があり素晴らしいと思いました。

その他、会場毎に様々なイベントが行われていたようです。ゆるキャラのじゃんけん大会・バナナのたつき売り・ヨガ・歌やダンスのステージ等々。

現在、調布駅前には開発途上のため来年の商工まつり会場は駅前ではなく市役所前広場での開催となるのでしょうか。いずれにしても、来年以



降も来場者の皆様楽しんで頂けるよう一生懸命頑張りたいと思います。

相田 悦子



歳末たすけあい事務協力によせて

平成二十七年十一月四日午後一時より福祉会館2F会議室にて歳末たすけあい事務協力を行いました。テーブルの上に山のように積まれた募金袋、パンフレットetc.:

何年来と同じような作業だがベテランぞろいの女性部メンバー十名で、さすが作業の速いこと、みるみるうちに山はくずれ枚数を数えている途中話しかけられると、うっかり返事をして作業がはじめからになってしまうため、無言作業になってしまった。

大竹 勝子

クリーン作戦(秋)に参加して

早いもので雑事に追われている内にもう師走をむかえてしまいました。

当日は雨にもかかわらず大勢の参加者にはびつくりさせられました。きれいな親しまれる川にする事を目的とした河川敷の清掃という事で十一月八日(日)午前八時に根岸部長を始め部員十名が参加しました。

いつものあざやかなピンクのジャンパーを身につけお掃除用具を受け取り、ご挨拶があり清掃開始です。多摩川がこんなに美しくあり続けるのには河川敷を利用される方々少年野球サッカー自治会共に一ツの輪になっっている様に感じます。

いつまでも安心して遊べる多摩川であってほしいものです。



ごみ収集量
全体参加人数八百六十九人
団体(三十六)

可燃 0・37トン
不燃 0・39トン
粗大 0・27トン
ビン 五十本
かん 二百本
ペットボトル 一本

上別府 昭子



市制六十周年記念式典 Marche de Chofu に参加して

平成二十七年十一月七日(八日)、市制六十周年記念式典 Marche de Chofuに参加し、おしるこ&商工会女性部名物「ふみ焼き」の販売を行いました!

七日はお天気もよく、たくさん

人が訪れ、お店のほうも大繁盛で、「ふみ焼き」もどんどん売れて、焼いても焼いても追いつかないほどだったとか!

私がお手伝いさせていただいた八日は、あいにくのお天気で、来場者も少なく、予定より早めの終了となったが、それでも売れ残ることなく完売となりました。

商工まつりの際に、若手?に作り方を伝授しようということで、ふみ焼き新人(?)として数名、先輩から手ほどきを受けていたため、この日は最初からふみ焼き担当のお手伝いでした。商工まつりのときは、一枚あたりの生地量やキャベツの量がなかなかつかめず、とんでもない形だったり大きさのふみ焼きもかなりあったと思いますが、今回は二度目ということで、少しは上達していたでしょうか?

鉄板の前での作業は熱く、大変なときもあります。女性部の皆さんと一緒に、声を張り上げて呼び込みをし、ふみ焼きを焼いたり売ったりすることは、とても楽しいです。平日の活動にはなかなか参加できませんが、土日や祝日の活動で、特に肉体労働系?にはできるだけ参加するつもりですので、これからもどうぞよろしく願います。

青山 富美江

新年研修会・懇親会

毎年恒例になっている新年研修会・新年懇親会はご多忙の中、多くの会員の参加をいただき開催致しました。

第一部の新年研修会には「映画の街・調布」に相応しい、俳優の白石奈緒美さんを講師にお招きし「女性でしか出来ない生き方」と題して講演をいただきました。限られた時間の中で、俳優に進む経緯と心情をお話しいただき、映画やテレビ・舞台で観る一面とは違い、人間味溢れる慈悲の持ち主であることを知りました。戦後日本が勢いよく立ち上がる男性主体の世の中で翻弄されながらも結婚を通して自我が芽生え、知識と学問に目覚め自身の生きる道を切り開いていく精神と行動力には感服し敬意を感じました。

才色兼備でありながらも、驕らず自身を磨き人の為に役立つ先見の眼を持った提案と発案力は、正にパイオニアです。白石奈緒美さんの精神は私も女性部が見習いたいお手本となる女性であると感じました。

第二部は、調布市長をはじめ商工会長と、ご来賓の皆様がご越しいただき年頭のご挨拶を戴きました。

ご挨拶の中にはこれまでの女性部

活動に対するエールと行政と商工業の未来を感じさせていただく内容のご挨拶でした。

市制六十周年を迎え、更なる飛躍を目指す調布市商工業にとって、その担い手の一翼を担う女性部への期待は年々大きく、これまで以上に活躍の場が広がっていることに誇りを感じた次第です。

超・超高齢化時代、女性の活躍は必然であり社会と家庭での役割においても尚一層大きくなって参ります。その重責をストレスに感じず解決する為には、新年研修会で学んだ「知識と学問」を身に付け、女性ならではのしなやかさと母性を活かした「人の為」なる行動を遣り甲斐と生き甲斐にして行くという学びを研修で得たように思います。

最後に、白石奈緒美さんの特別朗読劇は見たえのある舞台となり、部員の華やかな歌声で新春らしい新年懇親会を閉会し実りのある会となりました。

ここに、ご来賓と部員の皆様により感謝を申し上げ、今年も「忙中閑あり」と大いに活動して参りましょう。

本年も宜しくお願い申し上げます。

林 清子



調布探訪

女性部広報委員会では、今年度の調布探訪として毎月十八日に深大寺延命観音窟の前で執り行われるという、延命息災祈願供養に行つてまいりました。延命観音様は、その名の如く寿命を延ばし、心身の無事息災の功德があるそうです。

当日は、十二月とは思えない穏やかな小春日の好日で、柳澤会長をはじめ事務局の山本さん、そして部員十三名が参加いたしました。

境内の西側の万霊塔に向かう道路を上がっていくと花屋さんを過ぎたところの崖沿いに左に折れる道があ

り、その道をまっすぐ歩いて行くと崖の中腹に、延命観音窟がありました。崖の中に埋め込まれた格子の扉の奥にまつられているのが岩に彫られた延命観音様です。昭和四十一年に秋田県の象潟(さきかた)港工事の際に海底から大岩を引き上げたところ、大岩に刻まれていたのは、第三代天台座主の慈覚大師円仁が彫つた延命観音像だったそうです。

その後、縁有つて深大寺に寄贈されてここに祀られたそうです。

午後一時に、張堂住職の他三名の僧侶がお出でになり、窟の中にお入りになって、ご供養の読経を始められました。

ご供養が終わつた後、一人の僧侶が外に出られ、「平成二七年は未年で何事も未の年、準備の年であった。明年、平成二十八年は申年で、申すという字に人を書くと呼びるといふ字になり、何事も繁栄する年になる」との有難いお説法を下さり、お帰りになりました。

お見送りをした後、一人ずつ窟の中に入って延命観音様のお姿を拝見し、お参りをさせて頂きましたところ、出口のところで、深大寺さんから一人一人につきたてのお餅二個を頂戴しました。

全員そろつて、写真を撮つて、一休庵さんで遅い昼食をとりました。

杉崎部員がおかみさんとお知り合いだったご縁で、おまんじゅうを一つずつ頂き、食後にごちそうになつてまいりました。

さらに、柳澤会長より全員におまんじゅうのお土産をいただきました。

お参りをしたことで、良いことばかりが続く日でした。

増田 弘子



編集後記

おかげさまで持ちまして第三十一号たづくりも出来ました。女性部の皆様いつも原稿書いていただきありがとうございます。

広報部一同